

基地・軍需企業めぐりツアー

山本みはぎ

11月13日、県北部の自衛隊基地と軍需産業を巡るツアーを企画しました。昨年12月の安保3文書で、5年間で軍事費43兆円（GDP2%）、「敵基地攻撃能力の保有」が明記され、いよいよ戦争ができる体制へと大きく舵を切りました。

今回は、安保三文書により、「敵基地攻撃能力」であるミサイル製造の現場と、8月には「重要土地規制法」の対象として、小牧基地、名古屋飛行場など愛知県内の自衛隊施設が区域指定候補として指定された中でのツアーでした。

まずは、大曾根駅を出発してすぐにある三菱電機。レーダーシステムなどを生産し、この工場ではないが、軍需産業拡大のため、従業員を1000人規模で増員し、予算も220億円を投入するという。日本、イタリア、イギリスで共同開発する次期戦闘機のミサイル大手のMBDAと協業契約を結んでいる。

●陸上自衛隊第10師団 守山基地

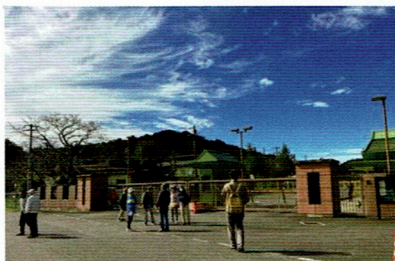
東海・北陸の6県を管轄する師団司令部。1992年の第1次カンボジア派遣から、ゴラン高原、東チモール、イラクなどに派遣されてい



る。10月15日の創立記念日に参加した人から「辛いにも自衛隊は戦争を経験していないので、実際に戦争を経験している米軍に学ぶ必要がある」というチラシが貼ってあったり、展示されている装備品の説明の中で「10師団は、超音速ミサイルや高速滑空弾の配備が計画されている」とアナウンスがあったそうだ。各地で行われる日米合同軍事演習で自衛隊員が戦争を経験した米軍から人の殺し方を学んでいることを如実に示している。

●高蔵寺弾薬庫

周囲を高蔵寺ニュータウンの団地群に囲まれた、一見して小高い山になっているのが航空自衛隊の高蔵寺弾薬庫だ。1941年に陸軍の兵器補給廠として作られたものだ。安保3文書では「継戦能力」の向上として2023年度には大分の敷戸と青森に、



2024年度には北海道、宮崎、鹿児島、沖縄の陸自施設9カ所に弾薬庫増設計画があり、最終的には130棟を建設するという。高蔵寺弾薬庫の位置づけも変わってくるかもしれない。ニュータウン建設時、春日井市では撤去決議があがったが実現していない。

2024年度には北海道、宮崎、鹿児島、沖縄の陸自施設9カ所に弾薬庫増設計画があり、最終的には130棟を建設するという。高蔵寺弾薬庫の位置づけも変わってくるかもしれない。ニュータウン建設時、春日井市では撤去決議があがったが実現していない。

●春日井駐屯地

第10施設大隊が主力。1992年のカンボジア派遣から施設部隊として、ゴラン高原、東チモール、イラクなどに派遣されている。施設内には弾薬庫があり、道路を隔ててすぐに小学校がある。



●三菱重工小牧北工場

正式名称は、名古屋誘導弾推進システム製作所。1972年に操業を開始し、ミサイル、航空・宇宙エンジン、制御機器関係製品を製造



している。アメリカのレイセオン社およびロッキードマーチン社が開発した地对空誘導弾システムペトリオットのライセンス生産や、12式地对艦誘導弾などを生産している。

今回の安保3文書の中の「敵基地攻撃能力」ができる長射程のミサイルはここで作られる。その一つが、12式地对艦誘導弾能力向上型で、射程が1000キロ以上になるという。開発期間は2021年度から2025年度で総事業費は約394億円にものぼる。地上発射型に加えて、艦上・空中発射型も開発され、総事業費は999億円にものぼる。これらは、健軍（熊本）、瀬戸内（奄美大島）、宮古島、石垣島や沖縄島の勝連駐屯地にも配備される。また、2026年の運用を目指している射程が、2000キロ～3000キロにもなる「島嶼防衛用高速滑空弾」の開発も進み、2030年度以降九州と北海道にも配備が予定されている。さらに、射程が1000キロ以上になり、JAXA（宇宙航空開発機構）と岡山大、東海大が参加している「極超音速誘導弾」の開発がすすめられ、まさに「敵基地攻撃能力」兵器の一大生産拠点だ。

●三菱重工小牧南工場

名古屋飛行場（名古屋空港）に隣接している。正式名称は、名古屋航空宇宙システム製作所。2003年に経産省が、小型航空機の研究開発プロジェクトを立ち上げたことを受け、2008年に「三菱リージョナルジェット（MRJ）」の名称で事業化を進めてい

たが 2023 年に正式に撤退を表明した。三菱重工小牧南工場では、ステルス戦闘機 F35 の最終組み立てが行われており、また、機体の整備、修理、改修を行う整備拠点（リージョナル・デポ）として機能している。143 機が配備される日本だけではなく、韓国・シンガポール・米軍岩国基地所属のものも含めての整備拠点となっている。（エンジンは、東京の IHI 瑞穂工場）

2018 年には 2035 年に退役する F2 戦闘機の後継機を国内企業主導で開発する方針を閣議決定した。三菱重工が開発主体で、三菱電機（電子装備品）、IHI（エンジン）、川崎重工（機体）、SUBARU（機体）、東芝、富士通、日本電気（レーダーを含む電子装備品）の 7 社が参加し、イギリス（BAE システムズ）とイタリアの航空・防衛大手「レオナルド社」の三か国で「グローバル戦闘航空プログラム(GCAP)」として共同開発され、2030 年生産開始、2035 年配備予定で計画が進んでいる。今年中に、共同開発機関の創設に関する条約を締結し、2024 年の通常国会に条約案を提出するとしている。開発コストは、1 兆 5000 億と報じられており、開発の関連企業は 3000 社にもものぼる。開発責任者、防衛装備庁の射場隆昌事業監理官は、「アメリカ主導で開発した F35 や F22 といった、『第 5 世代機』を超える性能の戦闘機をつくる。イギリスとイタリアには輸出にこだわりがある。ユーロファイターは 700 機弱のオーダーがあり、中東にも売られている。たくさん売れば売れば単価が下がるので、産業の観点から、たくさん機数が出ることは非常に大事だ。」と述べている。自公の実務者協議で、殺傷能力のある武器輸出解禁に向けて協議が行われている。

参加者の感想

- ・自分の住んでいる近くにこの種のものはないが、意外と多くの軍事施設・軍事産業があることに気づかされました。特に春日井の自衛隊基地、県営空港の周辺の三菱大工場など。
- ・初めて知った施設が多く、よくわかりました。案内をしてくださった不戦ネットの皆さんに感謝。月一回の小牧基地申し入れも反対側から見ると理解でき、今まで正面だけで申し入れするのは非常にもったいない感じでした。年に数回 3 団体で考えてみては。（杉下）
- ・三菱北工場「看板の写真撮るな」（警備員の）過剰反応はなぜ？ 軍民共用の小牧空港。このままいけ

ば「軍事」優先空港になっていく。国による経済の軍事化・底なしに税金を投入して死の商人国家になろうとしている。それで「経済」が潤うはずもなく「名誉ある地位」を占めることもできず、益々没落していくのみ。その過程で「戦禍」に遭遇することになるのか。

（自分では見て回ることはできないので企画してくださって感謝）近藤

- ・小牧基地南の展望台？もう少しそばで見たかった。高蔵寺の弾薬庫の隣に小学校とは驚きです。沖縄と変わらない状況。愛知の軍事基地・軍需産業の状況をもっと多くの人に知ってもらうにはどうしたらいいのか…愛知のこの状況が岸田政権を支援しているようで。愛知が先頭になって戦争ができる日本になってはいけません。知多半島に住んでいても武豊の「日油」のことは私も含めてあまり認識がないように思います。大きな記事になるときだけ注意する程度ではダメですね。
- ・名古屋・小牧・春日井等狭い地域に三菱工場、陸自、空自等軍事関連の施設が多いことに驚きます。自衛隊という軍隊、弾薬庫が学校や住宅に隣接していることにも改めて驚きました。地元の軍需工場、軍事施設に関心を持たなくてはと思いました。案内 & 説明ありがとうございました。（伊藤）
- ・小牧基地と名古屋空港の位置と役割などよくわかった（私は無知でした）各基地は平日だったら活動していたかしら。ちょっと見られなくて惜しい。武器生産の説明も、そこまで日本は戦争に深入りしているのかと驚いてしまいました。この先日本は軍事大国になっていくのか（半分なっている）心配。個人で巡るのは困難（地理不案内）なので、今回参加してとても有意義でした。
- ・普段見られないところを見られて有意義でした。感謝します。基地や軍需企業を外から見ただけでは簡単に理解できませんが、百聞一見に如かずと思い参加しました。レジユメを頂いたので復習に助かります。
- ・運転手さん、不戦ネットのみなさん、企画ありがとうございました。お疲れ様でした。広大な土地にたっぷりお金をかけての基地と軍需工場。非戦の日本のはずなのに、これから軍国への日本へ強化されるのはもうやめてくれ。私たちの運動はありのようなものではないと止めてはいけないし、沖縄のように諦めてはならないですね。
- ・外から見ただけでも勉強になりました。（武田）